

ワンちゃんver.



休診日

6・13・20・27

午前のみ

4・11・12

18・25



ワンちゃんの意外と知られていない関節炎のおはなし

関節炎は骨と骨の接合部にある関節軟骨がすり減り、障害が発生することで炎症を起こす病気です。慢性的な痛みを生じますが、見た目では分かり辛く、治療が遅れてしまいがちです。

関節炎は**加齢**や**肥満**の他、**免疫の異常**でも起こり、若齢でも発症する場合があります。数カ月から数年をかけて進行し、末期では**歩行困難**になり、寝たきりの生活を強いられることもあります。

!!こんな症状が出たら要注意!!

- 段差の昇り降りをしなくなった、または動作が遅くなった
- 散歩や運動を嫌がる様になった
- 起き上がる動作が辛そう
- 足を引きずる、跛行がある
- 動くたび関節から音が鳴る
- 関節が腫れる、変形する
- 痛みから食欲や元気がなくなる

上記のような症状がみられる場合は早めにご相談ください!!

◎主な治療と自宅での管理

- お薬とサプリメント
消炎鎮痛剤の投与と並行して関節を保護する成分が入ったサプリメントを使用します。また、EPA・DHAといった脂肪酸を補給するサプリメントも効果的です。
- 生活環境の改善
滑って怪我の原因になるようなフローリングにはマットを敷く、昇り降りを頻繁にする段差にはスロープなどを設置するなど、関節に負担をかけないような環境を整えると快適に生活ができます。また、痛みが改善したら筋肉量を減らさないよう適度に運動することも必要です。

☆スタッフブログ更新中☆

1月4日 しんねん(・ω・)
1月10日 2018年 抱負
1月24日 積雪
1月26日 犬は喜び庭かけまわる??



オノテラ動物病院

TEL : 022-767-7566
HP : onodera_grupo.jp



ネコちゃんver.



休診日

6・13・20・27

午前のみ

4・11・12

18・25



ネコちゃんに多い膀胱炎と尿石症のおはなし

膀胱炎と尿石症は下部尿路疾患と総称され、多くのネコちゃんが悩まされています。原因として、ストレスや食事の他、水分をとる量が少ないことで発症します。そのため、飲水量の減る寒い時期にとっても増える疾患です。

!!こんな症状が出たら要注意!!

- 尿の色がピンク～赤色
- 尿に血が混ざっている
- トイレで長い時間うずくまっている
- トイレに行く回数が多い
- トイレではないところで尿をする
- 落ち着きがなくソワソワしている
- 食欲がない
- 元気がない

上記のような症状がみられる場合は早めにご相談ください!!

下部尿路疾患は悪化すると排尿が全くできず、**急性腎不全**になり短時間で亡くなることもある恐ろしい疾患です。また、一旦症状が治まっても、**再発を繰り返す**ことが多く、適切な治療と管理が継続的に必要になります。

◎主な治療と自宅での管理

- ・ 食事管理
下部尿路疾患の治療には食事管理が重要な役割を果たします。獣医師による指示のもと適切な食事を与えましょう。
- ・ 飲水量
水分を多くとると尿が薄まり量が増え、尿石症の予防になります。新鮮な水が飲めるようにし、適切な運動を行い飲水量を増やすよう心がけましょう。
- ・ 定期的な尿検査
再発を繰り返すことが多いので、症状が治まっても定期的に尿検査を行い、早期に異常を発見することで重症化を防ぐことができます。

☆スタッフブログ更新中☆

1月4日 しんねん(・ω・)
1月10日 2018年 抱負
1月24日 積雪
1月26日 犬は喜び庭かけまわる??



オノデラ動物病院

TEL : 022-767-7566
HP : onodera.grupo.jp

